

にじのへやだより

病児保育室にじのへや
蕨市病児・病後児保育事業

令和 7 年 5 月 発行 (vol.1)

こんにちは。病児保育室にじのへやと申します。

平成 31 年 4 月 1 日に蕨市初の病児保育室として開園し、今年で 7 年目となりました。

日頃より、地域の皆様にはあたたかいご支援・ご理解をいただきまして感謝申し上げます。

病児保育室にじのへやは、保育園等に通園されているお子さまだけではなく、通われていないご家庭でも冠婚葬祭等のご予定の日にお子さまが体調不良になってしまった際にご利用いただくことができます。

専任の保育士・看護師がお子さまの体調に合わせて、ゆったりと心地よく過ごせるように寄り添わせていただきます。

新年度が始まり、1 カ月が経ちました。新しい環境に慣れ始めると同時に、お疲れも出てくる頃かと思えます。

お子さまや保護者の皆様が安心して過ごすことのできる、あたたかい環境づくりを目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 月 利用者数

〈利用内訳(年齢別)〉26(名) 登録者数 6(名)

0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	学童
0	10	9	3	3	0	0	1

利用児童の疾患

- 1、上気道炎 18 名
- 2、アデノウイルス 3 名
- 3、気管支炎 2 名
- 4、喘息性気管支炎 1 名
- 5、急性リンパ節炎 1 名
- 6、胃腸炎 1 名

入園・入学・進級に伴い、慣れない環境で疲れや体調を崩すお子さまが多くご利用されていました。

昨年の 4 月と比べ、上旬は感染症のお子さまのご利用が減少していましたが、4 月中旬から下旬にかけて徐々にご利用数が増えてきました。5、6 月はさらに季節の感染症の流行が急増する恐れがあります。引き続き、安心してご利用いただけるよう感染対策を徹底し、隔離室を使用しながら一人ひとりの体調に合わせて無理なくゆったりと過ごせるようにしていきます。

保育の様子

体調や機嫌が良いときは、保育者と一緒におもちゃやぬりえ、粘土などで遊んでいます！施設にはたくさんのおもちゃがあります！

一人ひとりの体調に合わせてながら、無理のないよう食事や水分補給を取っています。

こいのぼり製作をしました！キラキラのシールを顔やしっぽに貼り、プチプチの緩衝材にペンでお絵描きをして鱗を表現しました！

百日咳が流行しています

百日咳は、百日咳菌が主な原因の感染症で、長く続く咳が特徴です。

経過は、「カタル期」「痙咳(けいがい)期」「回復期」に分けられ、回復するまで2～3ヶ月かかります。

1. カタル期(約2週間)

7～10日程度の潜伏期を経て、一般的な風邪症状(鼻汁・軽い咳・微熱)が起きた後、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります。

2. 痙咳期(カタル期後、約2～3週間)

次第に特徴的な発作性痙攣性の咳(痙咳)が出現します。これは、短い咳が連続して起こり、その直後に「ヒュー」と笛のような音を出し息を吸い込むのが特徴です。発熱はないか、あっても微熱程度です。激しい咳によって顔面がうっ血し、顔面浮腫や点状出血、結膜充血、鼻出血がみられることがあります。激しい咳は特に夜間に多くみられます。

低月齢の乳児では、百日咳に特徴的な症状を示さないことがあります。特徴的な咳がなく、無呼吸発作からチアノーゼ(顔色や唇・爪が紫色に見える)、けいれん、呼吸停止を起こすことがあります、注意が必要です。肺炎・脳症などの重篤な合併症も報告されており、早期診断・対応が重要です。

3. 回復期(痙咳期後、2～3週間以上)

激しい咳発作は次第に減少し、2～3週間で消失します。時折忘れた頃に発作性の咳が出ることもあります。

ワクチン接種を受けましょう

1歳になるまでの乳児、特にワクチンを接種していない3ヶ月未満の乳児が感染すると重症化し、命の危険があります。百日咳は、ワクチンで予防することができます。

生後2カ月になったらすみやかに「5種混合ワクチン(定期接種)」を受けましょう。

百日咳菌の感染力は非常に強力で、4回のワクチン接種が完了しても、その免疫効果は5～10年程度のため5～15歳の患者が多いです。そのため、①小学校入学前と②11～12歳の計2回、追加接種(任意接種)をすることも推奨されています。



AED を設置しました

AEDとは、Automated External Defibrillator の略で、救命装置の「自動対外式除細動器」のことです。AEDは、突然死の大きな原因となる心臓の心室細動(心室が小刻みにふるえ全身に血液を送れなくなる状態)を、外からの電気ショックによりとりのぞき、拍動を正常にもどすための医療機器です。心室細動が起こると心臓はポンプの役割をはたせず、救命率は1分ごとに10%ずつ失われ、10分で救命は不可能になります。

一刻も早い処置が必要なため、公共施設などへの設置も進められており、病児保育室にじのへやでも2月1日よりAEDの設置をしております。

連絡書が新しくなりました

医療機関受診時に医師に記入していただく「蕨市病児・病後児保育事業利用連絡書」の書式が、今年度より新しくなりました。「安静度」の項目を、3種類から4種類に変更しております。今までの連絡書も使用可能ではありますが、蕨市ホームページにて新しい連絡書をダウンロードできますので、そちらをご使用いただけるとよりご予約の確定がスムーズになります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

